

# 本郷交流館だより

本郷交流館

〒729-0252

福山市本郷町1045-1

TEL 084-936-1123

☎ongou-krk@city.fukuyama.hiroshima.jp

## スマホ教室

福山市デジタル講習会

### 1回目

日時: 2024年1月10日(水)

14:00~2時間程度

場所: 本郷交流館 2階 会議室

内容: 電源の入れ方・ボタン操作など

申込みの締切: 2024年1月4日(木)17時まで

### 2回目

日時: 2024年1月29日(月)

14:00~2時間程度

場所: 本郷交流館 2階 会議室

内容: 電話のかけ方・カメラの使い方

申込みの締切: 2024年1月25日(木)17時まで

~1回目, 2回目どちらの講座も~

**受講料無料**

定員: 15人 先着順

※申込時に ①名前②電話番号③スマホの有無 をお知らせ下さい

申込・問合せ: 本郷交流館 ☎ 084-936-1123

持参物: 筆記用具, スマホ

※スマホ未所持の方は貸出可能です。 申込時にお伝えください。



まちづくり生き生き講座

### 一閑張りかごバッグ作り

日時: 1月26日(金)

10時00分~11時30分

場所: 本郷交流館 1階 和室

材料費: 2,000円 定員: 10人

持参物: ・糊付けしたあとおさえるタオル

・ご家庭にある半紙や和紙など絵や文字が書いてあってもよい。

柿渋の液を塗って作ります。柿渋には防腐, 防虫, 消臭, 抗菌などの効果があるとされています。古くなった家具や布・革製のバッグなどに塗って再利用できます。半紙や和紙をちぎってのりで張ったり, 柿渋液を塗ったりの簡単な作業です。一緒に作ってみませんか?

見本は  
交流館にあります



~体育会からのお知らせ~

第50回

**本郷町内一周駅伝大会開催!**

**2024年1月1日(元日)**

**10時00分スタート!!**

新型コロナウイルス感染症で中止となつて以来, 4年ぶりの開催です。みなさん是非, 沿道からの応援をよろしくお願ひします。

# 2023年度地域別住民学習会の報告

## 本郷学区人権啓発推進協議会

今年度は、以前と同じような懇談会の形態で各地域の方々が集い、話し合いができました。「いつまでも安心して暮らせる本郷町をめざして」というテーマで「日常の人権Ⅱ」・「家庭からふりかえる」のDVDを地区で分けて観賞し、また、福山市が作成したリーフレット「新時代を生きる」で子どもの権利条約について学び、意見交換を行いました。たくさんのご意見ありがとうございました。住民の方の意見を一部紹介します。



### 地域別住民学習での意見や質問

#### ～理解が進んできている内容～

外国人問題では、日常のコミュニケーションが大切。本郷町にも外国人の方が働きに来られている。毎朝のように会うが、よく挨拶をしてくれる。まずは挨拶から。

家庭内でお互いを認め合いながら生活することが大事だと感じる。

本郷は閉鎖的な地域である。新しい家がどんどん増えている。よりよい人間関係・住みやすいまちづくりのためにも住民学習のような勉強会は必要である。

部落問題はまだ耳にすることがある。まだなくなっていない。

女性がこの仕事、男性がこの仕事というのはなくなってきている。人手不足等もあるが、経営者の考え方や人権感覚、仕事内容で男性・女性とわけなくてもできる仕事がほとんど。

家族が認知症になったが、近所に知らせていなかった。世間体を考えて言えなかった。しかし、徘徊をするようになり、家族だけでは見きれないことに気づいた。早くから近所に知らせておくと気持ちも楽になり、一緒に取り組めたのではないかと思う。誰かに言えるだけで気持ちが軽くなる。

#### ～課題となって残る内容～

昔の学校は全校集会を開き、部落問題を行っている学校が多かったが、最近は部落問題学習を行っていないように思う。今は相手の気持ちを考えていく教育にかわってきている。相手のルーツを重んじて理解することが大事。

子どもの不登校について、「どうして行けないの?」「がんばって」など、励ますような言葉を言わないようにしているが不安。

ゆとりがなくなると夫婦の会話がなくなり、お互いの良いところも見えなくなってしまう。ケンカは頻繁にするが、仲直りが難しい。子どものためにも親が冷静になりたい。

認知症の家族を抱えている家庭は、本当に辛かったり大変だったりする。不安になったり困ったときに少しでも近所や地域が協力できたり、すぐに相談できる地域性にしたい。

注意すると何か言われるか不安。近所では、気軽に注意できたり、話ができたりする間柄でいたい。住民学習などであつまることで少しは違うのではないか。



会場では、たくさんの意見交流がされました。「地域の人が顔を合わせ、学習教材を見て学び、それぞれの思いや考え、感想を話し合うことの大切さを感じた」「住民学習会の必要性や住民学習会でいろいろな人権問題を知り、学ぶことの大切さを感じました」という成果もあったが、「参加人数の減少、考え方も多様化している現在、学習方法の検討の必要があるのでは」といった課題も出ました。地域の方々が集い、お互いを知ってつながりを深めていくことが人権意識を高めることにつながっていきます。

人が集まって話  
ができる場所が  
あるといいね!

住民学習会  
に参加して  
みよう!

